

岩手県 軽米町議会

かるまいの議会だより

No. 215

平成30年10月31日



主な内容

📁 特集「町の魅力づくり」

住みたくなる町へ 創意と工夫を 2

📁 9月定例会 一般質問に6人登壇 11

📁 研修報告 行革自立の町と原発被害を視察 18

📁 インタビュー「かるまい町に住んでみて」 24

防火の気持ちここに誓う

消防演習で見事な軽可搬ポンプ操法を披露した消防クラブ員。日ごろの練習で操作技術はもちろん、防火への気持ちも同時に育みます。誓いの心ここにあり！

(平成30年9月16日；小玉川少年消防クラブ)

〔軽米高校文化祭に来ていた「ハイキュー!!」ファンにお聞きしました〕

*質問：来町回数は？ 町の印象 町に住みたいと思いますか？ これからどんな企画に期待しますか？ など

田崎佳歩さん・田中沙季さん (大阪・茨木市)
初めて来ました。皆さんがあたたかく迎入れてくれて嬉しかった。住んでみたいと思います、交通の便さえ良ければ。イベントには満足していますが、更に何回かあればもっと良いですね。

山崎絵美さん (埼玉・さいたま市)
5回目ぐらいかな。働くところさえあれば住んでみてもいいかな。町とファンとで芋煮会をやれば楽しいと思います。

今 信子さん (埼玉・志木市)
2回目。優しい人柄と町の雰囲気が好きですね。交通手段は考えるけど、歳とともに住みたくなる感じがします。町のグッズ商品を販売してほしいです。

イベントの開催に期待

ファンとの芋煮会も！


町のグッズ商品販売を

軽米町には5回目です

住むには仕事があれば

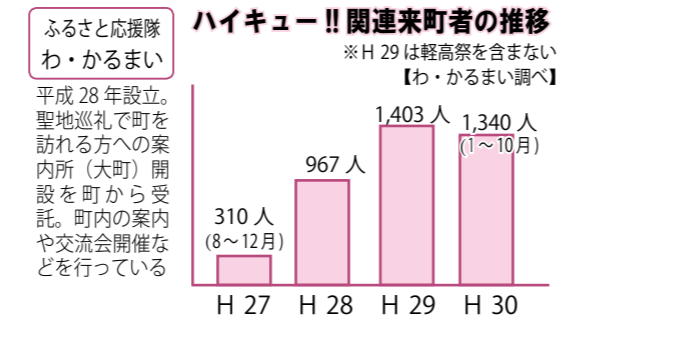
住んでみたいけど…

魅力の種が花咲くことを期待



ふるさと応援隊 わ・かるまい
堀米 孝太郎 さん (緑ヶ丘、63歳)

聖地巡礼で軽米に来てくれたファンに「もっと軽米を知ってもらいたい」「何回も来てもらえるように」と始めた聖地案内活動。遠方からのファンの多くは、豊かな自然環境と優しい町民との触れ合いで「軽米ファン」になり、第二の故郷として親しんでくれています。よそ者だからこそ気づく軽米の「魅力」という種が、これからの軽米に花を咲かせることを期待しています。



ぎかいの視点

町づくりには人が必要不可欠

子どもたちが戻りたくなる魅力づくりを

町職員採用試験で合格辞退者が続いている現状を重く受け止め、早期に対策を講じるべきです。辞退の要因は何か。職場環境に魅力がないのか、まちづくりに興味がないのか、民間重視など様々あると思われます。一方で、帰郷を希望されている方にはチャンスかもしれません。知識と経験を生かして、まちづくりに取り組もうとする方を応援したいものです。町づくりは人がいなければ進められません。町の魅力づくりこそが、移住人口増へつなげると確信します。

職員採用に辞退も定住に何が必要か

近年は町職員採用試験に合格しても辞退する方もいます。仕事や住まいなど解決すべき課題もありますが、「ハイキュー!!」の例から町民の「魅力」は可能性を秘めています。

住んでも良いとの回答もあります。仕事や住まいなど解決すべき課題もありますが、「ハイキュー!!」の例から町民の「魅力」は可能性を秘めています。

職員の採用に辞退する方もいます。仕事や住まいなど解決すべき課題もありますが、「ハイキュー!!」の例から町民の「魅力」は可能性を秘めています。

9月定例会(第27回定例会)は、9月3日から14日までの12日間の会期で開かれました。平成29年度一般会計と特別会計、水道事業会計の決算について承認しました。ほかに教育委員長命への同意、30年度補正予算4件、追加提案された和解案と補正予算をすべて可決しました。町の予算で行われるまちづくりについて、今回の特集では町の魅力づくりを考えます。

移住希望者にも住みやすい町に

平成29年度一般会計決算では、昨年度一年間で67億4千万円余りが使われました。町内で暮らす私たちが日々生活するための予算もあれば、将来の町づくりのため、また人口減少を解消するための事業も必要です。進学や就職のため町外で暮らしている方はたくさんいますし、結婚や仕事で町に転居して来られる方もいます。

ハイキュー!!関連の来町者は増加傾向

漫画「ハイキュー!!」の聖地として町を訪れる方は日本全国、海外を問わず年々増え、中には10回以上というリピーターもいます。案内所を運営する「わ・かるまい」(堀米孝太郎代表)のアンケート調査では、軽米に移り

す。将来、帰郷希望者や新たに町に移り住んでもらうためには、住みたくなる環境づくりも必要です。



▲観光の要、雪谷川ダムフォレストパーク・軽米



▲町の農産物、特産品、食材などの魅力を一堂に集めPRする「食フェスタ in かるまい」

特集
町の魅力

ハイキュー!!来町者に聞く
住みたくなる町へ
創意と工夫を

29年度会計 決算すべてを 認定

特集記事

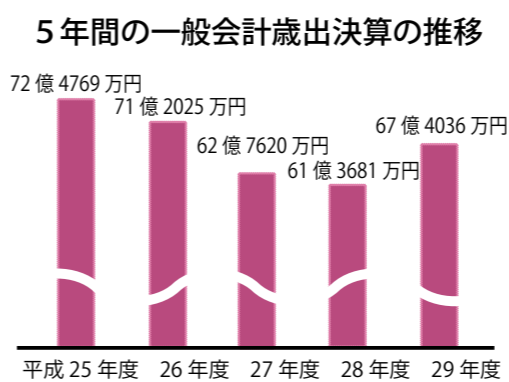
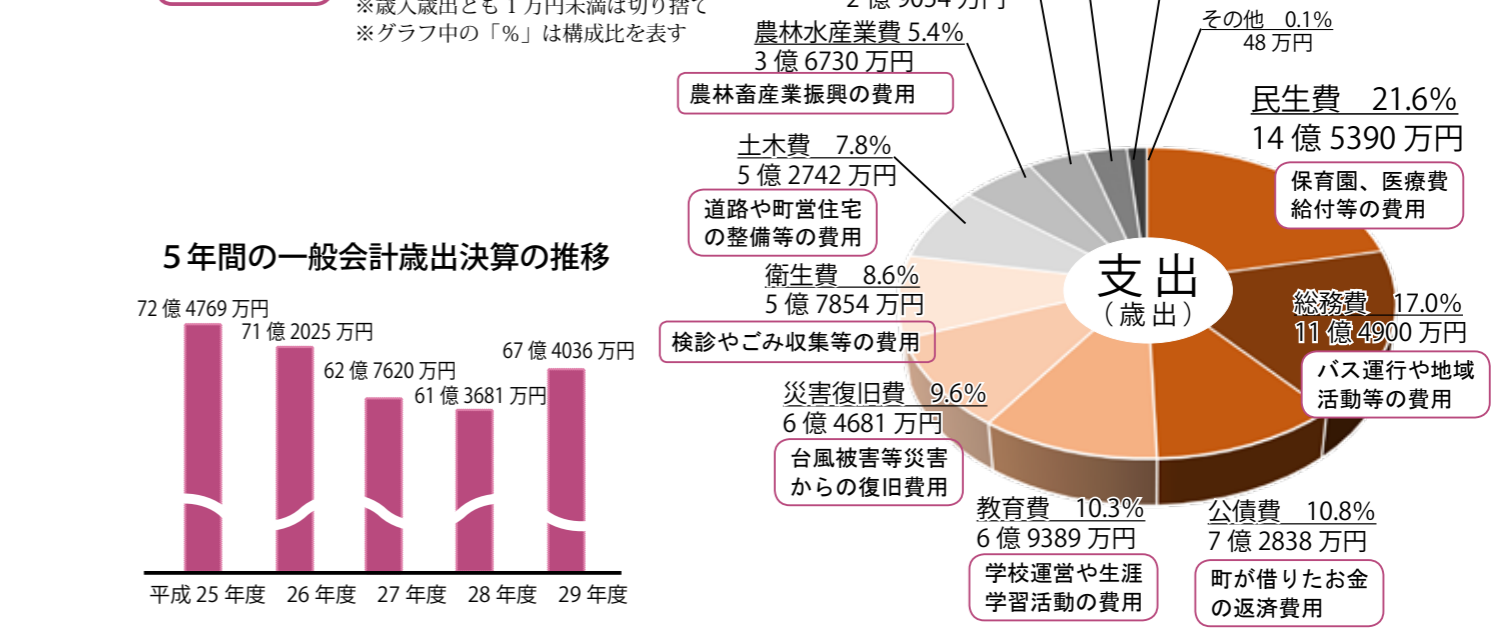
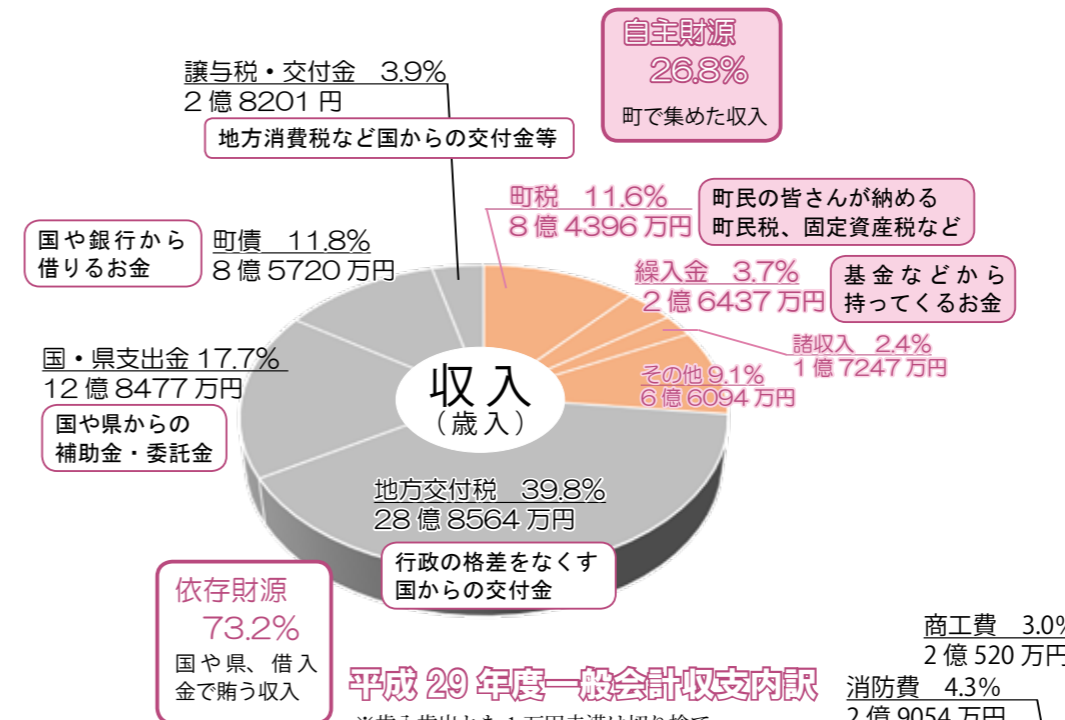
9月定例会

特別委員会

一般質問

議会活動

9月定例会で設置された平成29年度軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会（松浦満雄委員長）では、9月10日からの3日間、審査が行われました。一般会計と国民健康保険特別会計決算に反対意見もありましたが、全体的に会計決算を認定しました。概要を表とグラフでお知らせします。



平成29年度会計別決算の状況

会計区分	歳入 (収入)	前年度比較	歳出 (支出)	前年度比較	結果
一般会計	72億5139万円	6億557万円	67億4036万円	6億355万円	認定
特別会計	国民健康保険	15億4658万円 △1082万円	15億2496万円 △2556万円	認定	
	下水道事業	1億5338万円 22万円	1億4888万円 13万円	認定	
	介護保険	6283万円 △866万円	6108万円 △882万円	認定	
	後期高齢者医療	8787万円 174万円	8747万円 140万円	認定	
	特別会計の合計額	18億5068万円 △1752万円	18億2240万円 △3284万円	-	
水道事業会計	収益的	3億8817万円 △1180万円	3億4408万円 △1676万円	認定	
	資本的	1億592万円 △6088万円	2億6731万円 △1億912万円		

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てていますので、合計とは一致しません。

決算審査意見
(平成30年9月3日本会議場)



みつお 竹下 光雄
代表監査委員

今後の事業に向けた引き続き健全化を

平成29年度一般会計決算は実質収支が4億8千万円余りの黒字で、単年度収支も約1億5千万円の黒字となっている。国民健康保険特別会計への一般会計法定外繰入は7880万円、前年度比で2380万円増加した。30年度から県が運営主体となり、町民への周知を図りたい。

基金残高は主要3基金とも減少し前年度比で約8500万円の減。財政健全化は早期健全化基準からは良好だが、今後の施設建設等に向け引き続き健全化に努めてほしい。

採用辞退者解消と再任用職員活用を

収入未済額の解消、不納欠損処理には厳正に対処されたい。また補助金支出にあたっては受益者負担の公平性から応分の負担を求められたい。

職員採用では辞退者なく人材を確保し、再任用職員はその力を発揮させるためにも勤務体系の見直しが必要ではないか。

軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会（松浦満雄委員長）では、9月10日からの3日間、審査が行われました。一般会計と国民健康保険特別会計決算に反対意見もありましたが、全体的に会計決算を認定しました。概要を表とグラフでお知らせします。

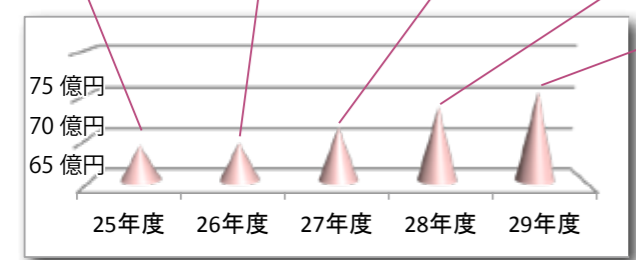
重点施策への配分を検討しながら推進されたい。

グラフと数字で見る平成29年度の財政状況

※1万円未満は切り捨てています

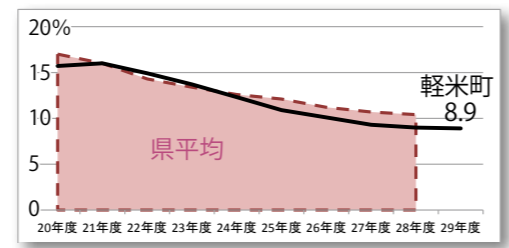
町債残高の推移【増加傾向】 (町債) 町の借入金

年度	平成25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
借入金	69億1023万円	69億4087万円	71億2196万円	73億5641万円	75億3337万円



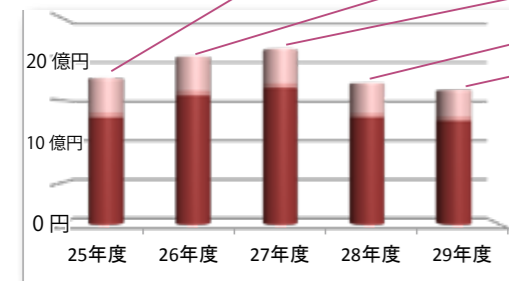
[実質公債費比率]
借入金にあたる起債を行う場合の財政指標の一つで、比率が高いほど硬直性が高いことを示す

実質公債費比率の推移【低下・改善傾向】

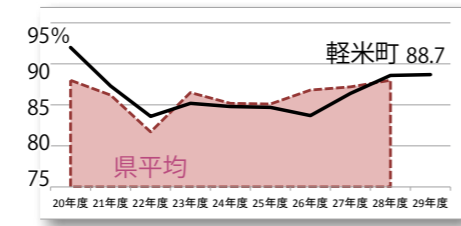


主な基金残高の推移【減少傾向】

主要3基金内訳	平成25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
財政調整基金	12億9257万円	15億5572万円	16億4987万円	12億9503万円	12億5356万円
町債減債基金	6297万円	5959万円	5631万円	5294万円	4955万円
ふるさとづくり振興基金	4億789万円	4億802万円	4億814万円	3億5927万円	3億1830万円
合計	17億6344万円	20億2333万円	21億1433万円	17億725万円	16億2142万円



経常収支比率の推移【上昇・悪化傾向】



[経常収支比率]
財政構造の弾力性を表す指標で、比率が高いほど経常剰余財源が少なく、財政の硬直化が進んでいることを示す

平成29年度一般会計決算への主な質疑 9月10日、11日、12日の決算等審査特別委員会から

町職員の採用試験

近年、職員採用で内定者からの辞退があり、職員数の確保が課題となっている。29年度決算の監査委員意見でも、面接方法の工夫などで人材確保への意見が出されている。【事業費一円】

問 来年度の職員採用試験に向けた改善策は考えているか。町職員の魅力、ひいては町に魅力を感じられないからではないか。

答 早く内定を出しても拘束はできず、採用時期を早めると現役学生が対象にできないなど課題があり来年度は従来通りで進めたい。今後、町の魅力を発信したい。

町づくり交流推進事業

漫画「ハイキュー!!」に町内風景が登場し聖地として訪れる観光客への対応として、案内所を開設。交流イベントなども開催している。【事業費263万円】

問 今後はどのように発展させていく考えか。

答 29年度の来町者は約1,300人でリピーターが多い。引き続き案内所を開設しながら町ぐるみで、町のファン獲得に取り組みたい。

問 著作権等もあり出版社の対応も厳しいとのことだが、町民にはもう一歩踏み込んだ取り組みはできないのかとの思いがあるが。

答 権利関係部分の交渉はしていないが、現状でやれる部分は取り組んでいる。出版社は町を聖地としておらず積極的なPRはできない状況にあることを理解いただきたい。



案内所（写真）を訪れる「ハイキュー!!」ファンは年間1,000人を超え、繰り返し来町される方も多

防災行政無線のデジタル化

アナログ防災行政無線の老朽化により、デジタル方式に更新するもので、25年度の親局整備から順次更新を実施。29年度は屋外拡声子局29局を整備した。【事業費1億7,319万円】

問 デジタル化への進捗状況は。

答 屋外拡声子局は全111箇所を更新予定で、29年度までで約4割の更新を終えた。28年度には折爪岳中継局も整備を終え、事業全体では半分程度の進捗である。4期事業となる30年度にすべてを完了予定。

特別養護老人ホームいちい荘建設への補助

軽米町社会福祉協議会が建設を進める、特別養護老人ホームいちい荘について、基本設計に要する経費を町が補助。【事業費（29年度予算措置額）1,841万3千円】

問 29年度に基本設計作成に向けた補助金を補正予算で措置した。その後の進捗状況はどうなっているか。

答 29年度補助金は、事業を30年度に繰り越して本年度に基本設計が完成した。現在は、実施設計に向けた協議を進めている。

問 当初の資金計画から変更点はあるか。また過疎債活用についての協議、手続きは行っているか。

答 現時点で計画を下回っており変更はない。県からは、町の希望どおりの内容で過疎債の借り入れが可能であるとの回答を得た。具体的な手続きはこれから進める。

消滅型の生ごみ処理事業

消滅菌を使用した消滅型生ごみ処理方法について29年度から運用を始めた。（収集量115ト、うち消滅型処理23.7ト、1日の処理100kg、消滅まで約2週間）【事業費591万6千円】

問 消滅型処理の生ごみ処理の状況と費用対効果、今後の見通しは。

答 生ごみに含まれる水分量や温度管理が難しく、当初の計画通りにはいっていない。費用は初年度でもあり焼却処理した場合の約5倍を要した。他市町村の状況も伺いながら、効率的な方法を模索、検討していきたい。

ふるさと納税の推進 887万円
平成28年10月から専用ポータルサイトからも手続きができるようになり、29年度は1,353件、1,781万円の寄附金があった

平成29年度一般会計決算から
注目事業をピックアップ
※金額は1万円未満を切り捨てています

携帯電話等エリア整備事業 3,946万円
携帯電話等が通信できない地区（八木沢、市野々）に通信施設を整備し解消に努めた

地域活動支援事業費補助金 1,014万円
（写真は、モーモーフェスティバル2018）
地域の自主的、主体的事業への助成を実施。29年度は、新たに自主防災組織への助成枠も創設した

協働参画地域づくりチャレンジ事業支援金 117万円
（写真は、軽米高校を応援する会による横断幕の制作）
団体等が自主的・主体的に取り組む事業に支援。29年度からスタートアップ事業（2/3以内、上限50万円）と、ステップアップ事業（同1/3、30万円）に見直した

円子地区交流センター整備 1億1,557万円
老朽化した生活改善センターを新築し地域活動の拠点整備を図った

ふれあい共食事業 130万円
町内16地区で延べ71回、1,732人が参加。1人暮らしの不安解消や地域の連帯感づくりに寄与した

地域経済循環創造事業補助金 3,392万円
閉校した旧笹渡小・中を活用し、レタスなどを周年栽培する植物工場を新たに誘致。雇用の場の創出に向けて施設整備費等の一部を補助した

町営住宅建替団体造成工事 5,007万円
老朽化した町営住宅の更新に向け、29年度から敷地造成工事を実施。30年度から一部建物の建設工事が始まる

《9月定例会》 案件と採決結果

番号等	案件内容	本会議の採決結果	付託先	採決日
同意案①	教育委員会委員の任命（関向玲子氏＝本町、再任）	同意 (賛成多数)		9月3日 (招集日)
議案①	平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定 (歳出決算総額 67億4,036万9,217円) →P4参照	認定 (賛成多数)	平成29年度軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会	9月14日 (最終本会議)
議案②	平成29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 (歳出決算総額 15億2,496万2,891円) →P4参照			
議案③	平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 (歳出決算総額 8,747万5,505円) →P4参照			
議案④	平成29年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 (歳出決算総額 6,108万1,832円) →P4参照			
議案⑤	平成29年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 (歳出決算総額 1億4,888万1,068円) →P4参照			
議案⑥	平成29年度水道事業会計決算の認定及び利益の処分 →P4参照			
議案⑦	平成30年度一般会計補正予算③(6,762万1千円の増額補正) →P10参照	可決 (全員賛成)		
議案⑧	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算① (2,231万5千円の増額補正) →P10参照			
議案⑨	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算① (70万4千円の増額補正) →P10参照			
議案⑩	平成30年度介護保険特別会計補正予算② (100万3千円の増額補正) →P10参照			
議案⑪(※)	損害賠償(公用車事故による車両損害144万802円を賠償し和解するもの)	採択 (全員賛成)	民生常任委員会	
議案⑫(※)	平成30年度一般会計補正予算④ (議案⑪に係る144万1千円の増額補正) →P10参照			
請願陳情②	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願 →P10参照	可決 (全員賛成)	総務教育委員会	
発議案①	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書 (請願陳情②関連) →P10参照			
発議案②	私学助成の充実を求める意見書			
	委員会の閉会中の所管事務調査について(次定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの)			

(※) 9月7日の本会議で追加提出された議案

賛否が分かれた議案等の 表決一覧 (賛成：○、反対：×、欠席：欠)



議案名	議員名													賛成	反対	結果		
	中里 宣博	中村 正志	田村 せつ	川原 芳蔵	上山 勝志	館坂 久人	茶屋 隆	大村 税	松浦 満雄	本田 秀一	細谷 多門	古館 機智男	山本 幸男				(※)松浦 求	
議案① 29年度一般会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	2	認定
議案② 29年度国民健康保険特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	2	認定

(※) 議長は通常、採決には加わらない。

《9月定例会》 討論

9月14日の最終本会議での発言要旨を掲載

本会議場での討論は議案ごとに、先に反対者、次に賛成者の順番で行われます。

反対	古館 機智男	対象議案	細谷地 多門	賛成
X	<p>今のままでは将来危うい</p> <p>29年度の町政はメガソーラーによる森林の乱開発、子育て支援施策の後退、町長わいせつ報道による町のイメージ崩壊などが挙げられる。町長わいせつ報道は事実無根と言うが気持ちに隙があったのではないかと感じる。このままでは町の将来は危ういと感じるので反対。</p> 	<p>【議案第1号】</p> <p>平成29年度一般会計決算の認定</p>	<p>着実に計画、公約進展</p> <p>町長わいせつ報道への質問に対し、町長は完全否定しながら新聞報道には内容の精査と、町民には正しい判断をお願いしたいと答弁された。実直真摯な対応であり、町政では総合発展計画と町長7つの公約が着実に進展されており一般会計決算の認定に賛成する。</p> 	賛成
	<p>町長の政治姿勢に疑問</p> <p>町長の政治姿勢について疑問を感じることから、29年度一般会計の認定に反対する。新聞報道された町長の件について、速やかに町民に説明するべきであり、県町村会長として県民に対しても説明責任がある。町長の対応はいかがなものかと思うので反対する。</p> 		<p>川原木 芳蔵</p> <p>実質収支の黒字4億円超</p> <p>29年度の一般会計実質収支は4億8千万円余りの黒字で、町の行財政運営を評価する。監査結果には今後に向けた意見はあるが、概ね適正である。防災無線のデジタル化、携帯電話エリアの拡大、植物工場誘致などの成果もあり、決算の認定に賛成する。</p> 	

反対	古館 機智男	対象議案	細谷地 多門	賛成
X	<p>短期被保険者証は許されない</p> <p>国民健康保険の短期被保険者証が29年度は68件発行されている。所得が少ない人、納められない人の医療を奪うことになりかねない。人口が約32倍の盛岡市でさえ実質的に発行を止めている。弱者いじめであり断じて許されないとの立場から反対する。</p>	<p>【議案第2号】</p> <p>平成29年度国民健康保険特別会計決算の認定</p>	<p>被保険者の負担軽減を評価</p> <p>被保険者の安易な負担増をしない、一般会計からの法定外繰入を評価する。健康増進、保健活動に積極的に取り組みを続け医療費水準の引き下げに努めるとともに、今後も保険税の負担が大きくなならないよう一層の経営努力を期待し、29年度決算の認定に賛成する。</p>	賛成

第27回定例会 6人が登壇 一般質問

一般質問とは
 ・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
 ・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
 ・質問者の順番は通告した順番で行われます
 ・同一項目についての再質問は2回までできます
 ・時間の制限はありません

質問議員	質問事項	関連写真
	町長4期目の町政 7つの約束の進捗と課題を問う	
	幼児教育 笹渡保育園を統合する考えは	
	ジェネリック日本一と、軽米病院の存続は	
	自主防災組織の立ち上げ 期待するものは何か	
	一戸・御所野遺跡の世界遺産登録に向けた、町の施策はいかに	
	学童の登下校、防犯・安全対策は	
	町長のわいせつ報道、反省すべきことはないか	
	異常気象への防災対策、見直しの考えは	
	町長の政治姿勢 町長の事件、町民へ説明を	

※掲載されている質問要旨や回答内容は要約していますのでご了承ください。
 ※質問・回答の全文は会議録形式で、町議会ホームページにてご覧いただけます。



次回の町議会定例会は **12月4日開会予定**です 議会の傍聴にお越しく下さい

《9月定例会》 請願陳情・補正予算

皆さんからの請願・陳情の審査結果

【請願陳情第21号】
 *件名：「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願」
 *要旨：現在3分の1となっている国庫負担割合を2分の1に戻すよう国に意見書を提出してほしい
 *請願者：岩手県教職員組合県北支部 支部長 荒木裕之
 *紹介議員：古舘機智男、山本幸男

採択 → **意見書提出**
 全会一致 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、財務大臣

平成30年度一般会計予算の補正
総額 66億 334万円に

主な一般会計補正予算の内容 (第3号・4号)

【歳入】
 ・基金繰入金 (財政調整基金繰入金 5624万円)
 ・雑入 (生活支援体制整備事業交付金 117万円)
 ・町債 (かるまい交流駅(仮称)整備事業債 2800万円)

【歳出】
 ・軽米町地域活動支援事業費補助金 (企画費 150万円)
 ・8月大雨による農業用及び林業、公共土木施設災害復旧関連費用 (農林水産業並びに公共土木施設災害復旧費 1534万円)
 ・林道災害復旧工事費 (農林水産業施設災害復旧費 4130万円)

平成30年度会計別歳入歳出予算 (9月14日現在)

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計③④	6906万円	66億 334万円
国民健康保険①	2231万円	11億 9731万円
後期高齢者①	70万円	9170万円
介護保険②	100万円	6906万円
下水道事業	—	1億 6910万円

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています
 ※表中の○数字は補正措置の回数を表しています

第25回臨時会
 (平成30年7月18日開催)

平成30年度一般会計予算の補正
総額 65億 3428万円に

主な一般会計補正予算の内容 (第2号)

【歳入】
 ・基金繰入金 (財政調整基金繰入金 348万円)

【歳出】
 ・火葬場修繕休止時等使用料 (保健衛生費 168万円)
 ・林道災害復旧事業測量設計業務委託料 (農林水産業施設災害復旧費 180万円)

平成30年度会計別歳入歳出予算 (7月18日現在)

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計②	348万円	65億 3428万円
国民健康保険	—	11億 7500万円
後期高齢者	—	9100万円
介護保険	—	6805万円
下水道事業	—	1億 6910万円

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています
 ※表中の○数字は補正措置の回数を表しています

給食運搬車を更新

【議案①】 学校給食運搬車の老朽化に伴い、新たな車両(2トン車1台)の購入契約を可決しました。
 *契約額 645万8400円
【全員賛成で可決】

【議案②】 30年度一般会計予算を348万円増額補正しました。
【全員賛成で可決】

※欠席：館坂久人議員

第26回臨時会
 (平成30年8月3日開催)

町営住宅の建替地造成

【議案①】 町営住宅建替団地造成にかかる工事請負契約を可決しました。
 *契約額 6318万円
 *場所 旧岩手県農業試験場(萩田)
【全員賛成で可決】



ちや たかし
茶屋 隆

町長4期目の町政

問 町長公約の成果と課題は

町長 新規雇用60名、最重要は子育て支援



平成28年10月に稼働を始めた(株)十文字チキンカンパニーの鶏糞バイオマス発電所(写真)では従業員25名のうち12名が町内からの雇用

問 山本町政4期目の公約7つの項目の取り組み状況と、今後の課題を伺う。
【町長】農林畜産業の活性化ではエゴマなどの6次産業化と、販売促進に向けたショッピングサイト、ブランド認証制度を立ち上げた。また旧校舎活用の植物工場、種鶏場新設への助成で町内新規雇用が生まれている。
少子化対策では、18歳までの医療費無料化と乳幼児医療費の現物支給を実現。交流駅(仮称)の整備も進めている。保育料の無料化はならずとも国基準の4分の1程度の負担にある。若者定住促進住宅と学童クラブの新設については、今後の重要課題と認識している。
高齢者福祉では後期高齢者の健診受診率向上と医療費抑制に力を入れ、食事と体力づくりの面から健康寿命の延伸に取り組んでいる。

雇用と所得の向上ではバイオマス発電所の開所、各太陽光発電施設の建設による地元雇用のほか資材調達や宿泊等で経済効果が生じている。植物工場を含めた地元雇用は60名規模にある。
地域活性化ではプレミアム商品券のほか芝桜とチューリップ園の整備、シリアルサミット開催などで交流人口の拡大に努めた。地域活動支援補助金を充実し、着実に地域活動を活性化させている。
多様な交流の創造については、山内・円子の各地区センターを更新。今後も計画的に進めたい。公共交通では、デマンド型タクシーの実現には至っていないが引き続き検討する。
行政改革では町長報酬の10%削減、百人委員会をはじめ公聴制度の充実、機構改革などでサービス向上と事務効率化を図ってきた。

問 思い切った施策展開を

町長 若者の雇用を優先したい

問 子育て支援と
言っても子どもがいなくては意味が無い。若者向け住宅の施策や矢祭町のような思い切った施策(p18参照)が必要ではないか。
【町長】まずは若者の雇用の場を確保したい。その上でご提案の安価な住宅提供や子育て支援を充実させた。祝い金制度も検討しなければならぬ。



たむら せつ
田村 せつ

笹渡保育園の統合

問 子どもたちのため統合を

町長 今後のあり方を検討していきたい



整備から45年が経過した笹渡保育園園舎は老朽化が目立ってきています

問 笹渡保育園は統合をしないで運営されているが、建物も古く、設備も十分ではないのが現状ではないか。
【町長】同園は、昭和47年度に整備され45年が経過した。ご指摘のとおり老朽化が進んでおり、これまでも外壁修繕や屋根塗装を繰り返している。
問 園児が少人数だとしても集団活動ができないではないかと心配する。運営に支障はないか。
【町長】児童数は10名(30年9月5日現在)で、職員は正職員1名に臨時1名である。各



園児は10月から11名に。裏山でどんぐり拾いをしたり、園庭の遊具で遊ぶ子どもたち

返り維持修繕を行ってきた。
問 園児が少人数だとしても集団活動ができないではないかと心配する。運営に支障はないか。
【町長】児童数は10名(30年9月5日現在)で、職員は正職員1名に臨時1名である。各行事等は、保護者や地域の方々の協力もいたしながら常設保育園と同じような取り組みを行っている。
問 施設の老朽化や給食の問題、園児数の状況から、子どもたちのことを考えると統合したほうが良いのではと考えるがいかがか。
【町長】確かに町内の出生数は平成19年度まで年間70人台だったが、20年度以降は減少し現在は40人台となった。
【町長】確かに町内の出生数は平成19年度まで年間70人台だったが、20年度以降は減少し現在は40人台となった。今後のあり方を検討していきたい。



なかむら まさひろ
中村 正志

県立軽米病院の存続

問 軽米病院の存続、方向性は

町長 次期計画(平成31年度～36年度)では現状を維持



ジェネリック医薬品の利用で医療費削減効果も期待されます(写真は県立軽米病院)

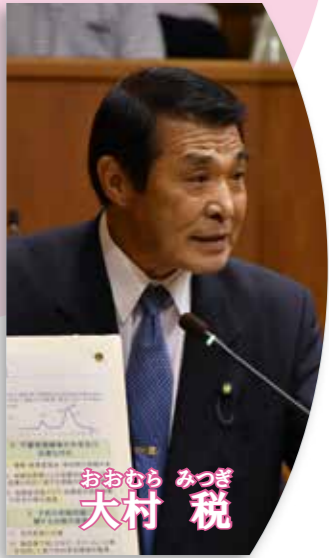
【問】軽米町がジェネリック医薬品日本一と聞く。その経過と内容について伺う。
【町長】ジェネリック医薬品(以下「ジェネリック」)の市町村別使用割合が平成28年度に88・9%と日本一となった。地域の医師会や薬剤師会の協力、県立軽米病院をはじめ各医療機関でも積極的にジェネリックを奨めていると伺っている。

【問】更なる町民理解へどう取組む。
【町長】ジェネリック使用は医療費抑制に繋がり、国も推進している。希望者が意思表示をしやすいようなシールの配布と、啓発用パネルフレットで町民への周知を図っていく。
【問】軽米病院存続への取組み、今後の方向性はいかに。
【町長】二戸圏域内の重要な医療機関であり、毎年、県等への医療体制整備を要望している。31年度から36年度までの県立病院の次期経営計画(素案)では現状維持とされる。常勤医の医師派遣も継続されると伺っている。

世界遺産登録

問 観光振興への取組みを
町長 近隣との連携・協力が

【問】一戸・御所野縄文遺跡の世界遺産登録に向け、軽米町も観光面で取組む必要があるのではないか。
【町長】世界遺産登録をめざしている「北海道・東北の縄文遺跡群」は一戸のほか八戸・是川石器時代遺跡も含まれ、当町はその中間地
【問】高速ICを拠点とした観光ルート整備など、乗り遅れない早めの対策を。
【町長】多方面から意見、情報を収集して参りたい。



おおむら たかひろ
大村 税

登下校時の安全確保

問 防犯への対策強化が必要

教育長 防犯も含めた安全対策を講じたい

【問】登下校時の防犯対策・安全の確保について、どのような認識を持ち対応にあっているか。
【教育長】全国的に児童生徒が巻き込まれる痛ましい事件が発生するなど、町、教育委員会等が一体となって取り組むべきものと認識している。町、教育機関、警察、道路管理者等で構成する町通学路交通安全推進会議を開催し、危険箇所調査と対策を検討している。今後は防犯団体にも参加を請し、防犯の視点も含めた対策を講じていきたい。
【問】各小中学校での取り組み状況はいかに。
【教育長】各小中学校では登校時の安全指導、



登下校時の安全対策に重要な役割を担っているスクールガード見守り隊(写真)は今後の充実強化が課題

保護者と教員による登校指導のほか、交通安全・防犯教室を開催。PTAによる危険個所のチェック活動なども行われている。中学校では登校指導に加え、教職員がスクールバスに同乗しての通学路の安全確認、部活動顧問による下校指導等を実施している。
小中学校とも不審者情報などを速やかに周知する、保護者との連携など、メール連絡システムも構築されている。
【問】見守り体制の今後は
教育長 より多くの協力を期待したい
【問】登下校時の防犯対策・安全確保についての町の計画等は策定しているか。
【教育長】現在は交通安全を中
心とした計画があるが、更に防犯の視点を加え、登下校時の安全対策の指針としていきたい。
【問】防犯対策は地域重要である。通学路の見守り体制は現在どうなっているか。また対応策は必要ないか。
【教育長】スクールガード33人と交通指導員、警察を中心に毎日活動いただき、感謝申し上げます。今後はより多くの方にも防犯意識を持っていただきたい。例えば、草むしりや散歩しながら子どもたちを見守っていたら、期待している。



やまもと ゆきお 山本 幸男

町長の政治姿勢

問 町長の事件、町民へ説明を

町長 事実無根、町政に無関係で必要ない

問 山本町長の事件について7月19日と20日に新聞報道されてから、議会に説明があったのは8月3日の臨時議会である。こうした問題は町民、議会に対して速やかな説明が必要ではないか。



新聞報道は7月19日と20日に掲載されました(写真はイメージで、本文とは直接関係ありません)

町長 事実が不明で方針は未定

問 名誉棄損で訴えるのか

町長 毅然とした態度で臨むとのこと

問 新聞報道は一個の人に於いては、事実が不明で方針は未定

町長のわいせつ報道

問 反省すべきことはないか

町長 根拠無く、非難される事由はない

問 町長のわいせつ報道が新聞に掲載された。町長は事実無根、虚偽の告訴と発言しているが真相は。

町長 町長のイメージ損失を懸念し、遺憾に感じている。報道機関には事実関係を十分精査し掲載いただきたい。



メガソーラーによる山林開発の見直しが必要ではないでしょうか(写真は、本年5月の太陽光発電事業の現地調査)

問 山林開発の見直しを計画・法令に基づき対応



ふるだて きちお 古舘 機智男

町長 報道のような、私を被疑者とする告訴がされたという事実確認はできていない。

町長 日本社会全体がハラへの意識が遅れている。町男女共同参画計画推進も含め、町長の所感を伺う。

町長 8月16日の大雨で雪谷川ダムが越流し川が増水した。

町長 大雨や高温など異常気象が多発している。防災面からもメガソーラー建設、山林開発を見直す必要があるのではないか。

議会報編集常任委員会

研修レポート②

町民参加の広報紙づくりを学ぶ

①全国町村議会広報研修会
10月10日(水)
東京都 シェーンバツハ・サポー
講師2名による「読み手に伝わる文章」「デザイン力でもっと伝わる議会広報」がテーマ。簡潔な文章表現と見出しとイラスト・写真の活用で伝えることが重要である。別の講師からは全国最優秀の寄居町、川西町の議会広報をクリニック解説いただき参考となった。



全国の町村議会広報担当者が集まった研修会場は熱気に包まれていました

②埼玉県寄居町議会(先進地視察) 10月11日(木) 埼玉県寄居町議会



寄居町議会の議会広報広聴特別委員会の委員8名から議会広報紙への熱い情熱を感じました

平成29年度の全国町村議会広報コンクールで最優秀賞に輝いた埼玉県寄居町議会でも研修させていただきました。一冊の広報紙に約30人もの町民が登場する紙面づくりには、住民から協力と議会と住民との信頼関係も必要。議員の個々の情熱と議会一体となった広報紙づくりは驚きとともに新たな発見のある研修だった。



合計30人の町民コメントを写真付きで掲載する寄居町議会広報紙「お元気ですか寄居議会です」(No.89)

これが大事! 寄居町の研修で感じ、思ったこと 6委員のコメント

広報広聴活動が一体 「聴く!動く!」の躍動感ある紙面からも寄居町議会の活動が伺える。多くの町民が議会や町政に関心を持つ広報活動、町民の意見・要望を取り上げる広聴活動と得るものが多い。全国上位入賞を目標に議員全員で取組みたい。[委員長 茶屋 隆]

議会力も日本一 日本一の議会報は議会全員の総結集の賜。取材力と迅速な寄稿で読みたくなる広報紙への熱意に圧倒。住民参加とコミュニケーションは議会活性化にも繋がる。日本一の議会報は日本一の議会力と感じた。[副委員長 中村正志]

専門的視点も必要 読者に手に取って見てもらう。多くの町民の顔写真を載せ、興味を引く努力が素晴らしい。議会広報も新たな手法を用い日進月歩している。我が町も専門的なアドバイスを受けられる業者選定の必要性も感じた。[松浦満雄]

全議員で取組む姿勢 今回の研修を通じて、他町村議会との直接、情報交換ができてとても良い機会となった。特に寄居町議会では、広報委員のみならず全議員が広報広聴に取り組む姿勢、議会の態勢がすばらしいと感じた。ぜひ参考としたい。[川原木芳蔵]

意気込みを感じた 寄居町議会は毎年のように全国コンクールで入賞するだけあり、広報への意気込みを感じました。町民インタビューにも労を惜しまずアタックする姿勢と、私たちの広報紙にも指摘をいただきとても勉強になりました。[田村せつ]

町民の声聴く紙面 これが町議会の広報紙なの?と思うほど多くの町民が掲載される寄居町議会広報の紙面と取材力はスゴイ! 町民の議会報に対する関心が高まると同時に、声を聴く機会にもなりとても良いやり方だと感じた。[中里宣博]

研修レポート①

総務教育民生常任委員会

行革の長短を実感



全国から40万冊を超える本の寄贈を受けた「矢祭もったいない図書館」(矢祭町=写真)は旧武道館を改修し整備しました

福島県矢祭町(やまつりまち)
人口5,847人 世帯数2,059 面積118km2
議員定数10人 30年度一般会計当初予算46億円
福島県の最南端に位置。市町村合併をしない矢祭町宣言をし自立する町づくりを進めている。子どもから高齢者まですべての町民が住み続けたいと思う郷土づくりをめざす。4つの工業団地を有し5つの工場が操業する。



矢祭町 HP QRコード

行革で自立を選択 平成の大合併の波が押し寄せる中、いち早く「合併しない宣言」で一躍有名になった福島県矢祭町。18年が経過した今を視察した。行財政改革として職員・議員定数の削減、議員報酬の日当制導入(日額3万円)、補助金等の見直しなどを実施。一方で子育て支援策として、誕生祝い金

を第1・2子に各10万円、3子100万円、4子150万円、5子以降に200万円を支給。窓口業務の365日実施や、職員自宅の出張役場など住民サービス向上を図った。現在は企業誘致と結婚支援に力を入れている。職員の自治意識が高いと感じたが、過度の行革はその士気の低下の恐れもあると感じる一面もあった。

帰還希望は半分に 現在は第二次復興計画のもと、町総合戦略とともにまちづくりを進める。しかし、アンケート調査での帰還するとの回答は半分に。風評被害も相まってまちづくりは困難を極めている。役場周辺を核としたコンパクトな整備を進めている。

矢祭町は行財政改革に力を入れ、財政調整基金が35億円を超える成果を上げている。一方で長年の行革で職員は疲弊している印象があり、一辺倒な取り組みだけではいけないと感じた。原子力災害の浪江町は、復興期間の10年での復興は到底困難である。津波被害のみの南三陸町との復興の差も感じた。今後の町づくりにとっても参考となった。

報告 まつうらみつお 松浦満雄 総務教育民生常任委員長

- *研修月日 平成30年8月22日(水)~24日(金)
*場所と研修テーマ
1 福島県矢祭町: 自立宣言のまちづくり
2 福島県浪江町: 原発被害からの復旧復興
3 宮城県南三陸町: 大震災の復興状況視察
*参加委員 松浦満雄、茶屋 隆、松浦 求、上山勝志



浪江町では大震災津波被害で辺り一面草地となった現場を視察。震災前の写真と比較し説明いただいた(写真左手奥は、放射線汚染物専用の焼却施設)

福島県浪江町(なみえまち)
居住人口805人 世帯数527
面積223km2 議員定数16人
30年度一般会計当初予算約268億円
福島県の浜通りに位置。東日本大震災で15mを超える津波が襲った。原発事故の放射線量の増加で町内全域が避難区域に指定される。震災当時の人口は約2万1千人、7671世帯だったが、現在の居住人口は800人余りに。



浪江町 HP QRコード

81%が帰宅困難 福島県浪江町では、平成23年の東日本大震災津波で被害を受けた福島第一原子力発電所の放射線量の影響で、町内全域が避難区域に指定された。29年3月末に避難指示が解除されたが、山沿いの面積にして81%は未だ帰宅困難地域にある。

居住人口は800人



産業建設常任委員会

研修レポート③

軽米尊坊ソーラーの進捗を調査

合計で4か所計画されている調整池の場所の説明を受けました

報告



おむら みつぎ
大村 税

産業建設常任委員長



本年5月に起工式が執り行われた軽米尊坊ソーラー新設工事の進捗状況を調査した。雪谷川ダムフォリストパーク・軽米近くの総面積約114ヘクタールで、最大発電量40メガワットの規模を計画。着工後間もない時期ではあったが、主に伐採作業が行われており、6月末現在の伐採作業は13%の進捗、事業全体では0.5%程度の状況であった。

- ※調査月日 平成30年7月19日(木)
- ※場所 軽米町大字小軽米字尊坊
- ※テーマ 軽米尊坊ソーラー新設工事の現地調査
- ※参加委員 大村 税、山本幸男、本田秀一、川原木芳蔵、中村正志、中里宜博
- ※オブザーバー 古館機智男、茶屋 隆



伐採作業が進められる軽米尊坊ソーラー新設工事(調査日時点の様子)

町政調査会の活動報告



8月28日

広い待合スペースでゆったりくつろげる久慈地区斎場(上写真)は、駐車場スペース(右上写真)も約80台分確保されています



2つの斎場を視察

久慈地区斎場(設置者:久慈広域連合)と九戸村斎場を8月28日に視察しました。久慈地区斎場は、広域4市町村の共同設置で平成25年度に開所。火葬炉、待合室とも3組分設けられ燃焼設備は最新のものが導入されています。九戸村斎場の火葬炉は1基で、町が計画する火葬場整備の同規模施設とされています。

岩手県立軽米病院



町議会町政調査会



町の課題とともに軽米病院の将来について考えました



8月21日

県立軽米病院と町議会との懇談会

横島院長(右から2番目)から軽米病院の現状についての講話をいただき始まった懇談会

糖尿病治療では今や 県北広域の医療機関に

常勤医は3名

軽米病院は常勤医師3名、派遣医師1名で運営されています(8月21日時点)。全国的な医師不足の中、常勤医が減りましたが、県の奨学金制度により若い医師の配属が増えており、軽米病院にも1名派遣されています。

糖尿病患者を受入

軽米病院では10年ほ

町の現状課題として、少子高齢化、若者の雇用創出のほか高い肥満率と自殺率を横島院長は指摘。一方、ジェネリック医薬品の使用割合が日本一のお話しも伺いました。

町議会町政調査会(本田秀一会長)は8月21日、岩手県立軽米病院(横島孝雄院長、以下「軽米病院」と)との懇談会を開催しました。軽米病院の現状を横島院長からお聞きしたほか、葛西敏史副院長、小笠原雄参与、菊地健治事務局長、伊藤ゆかり総看護師長からも出席いただき情報交換しました。



7月21日

5年連続 県立軽米病院環境整備に50人

シルバー人材センターの皆さんにはかないません。パワーはさすがです。

軽米病院の環境整備ボランティア活動は、ことしで5年目。議員のほか、町シルバー人材センターの皆さんからお手伝いいただき、中庭の剪定、花壇の草取り、駐車場周辺の草刈りと高所作業車を使って高い樹木の枝払いなどを手分けして行いました。



9月16日

4年連続 秋まつり流し踊りに出場

流し踊りにことしも10人が参加。浴衣は町役場と同じ黄色と紺を基調にした、色鮮やかなものに新調しました。

馬子にも衣装。町議会ホームページからも議会だよりをご覧くださいませ。



軽米町議会 HP

おめでとうございます

旭日単光章



にさぶろう
山田仁三郎さん
(仲軽米)

元町議会議員の山田仁三郎さん(88歳=写真)が平成30年6月1日、旭日単光章(地方自治功労)を受章されました。
山田さんは町議会議員を昭和54年5月から連続3期、12年間務められ、その間、産業建設常任委員長を2年間、町政調査会長を2年間それぞれ歴任しました。

総務大臣感謝状
地方議会議員 35年以上



きちお
古舘 機智男 議員

[主な略歴]
昭和54年初当選、議員通算9期目
教育民生常任委員長(H3.5~、1期2年)
総務常任委員長(H9.5~、1期2年)
議会運営委員長(H5.5~、通算5期10年)
総務大臣感謝状受賞(H30.10.26)

町議会の動き

(平成30年7月~9月の主要な行事)

月	日	曜	行 事 名
7	3	火	パークゴルフはつらつ大会〔町政調査会〕
7	5	木	二戸地区広域行政事務組合視察研修(千葉県、~6日)
7	9	月	二戸地区広域行政事務組合臨時会(二戸市)
7	10	火	岩手県町村議会議長会政務調査会、視察研修(~11日)
7	13	金	議会報編集委員会
7	17	火	議会運営委員会
7	18	水	第25回軽米町議会臨時会 議会報編集委員会
7	19	木	産業建設常任委員会・町内視察
7	21	土	県立軽米病院環境整備〔町政調査会〕
7	23	月	北部地区町村議会議員研修会・情報交換会(岩泉町)
7	25	水	カシオペア連邦議会議員協議会総会・研修会(二戸市) かるまい議会だより第214号発行
7	26	木	町村議会夏季議員大学講座(県議長会主催、盛岡市、~27日)
7	27	金	特別養護老人ホームいちい荘夏まつり
8	1	水	議会運営委員会
8	3	金	第26回軽米町議会臨時会 町政調査会幹事会
8	4	土	音更町長、議会議長表敬訪問(音更町)
8	6	月	晴山遺族会夏季戦没者慰霊祭 北部地区町村議会議長会 県議会要望活動(盛岡市)
8	8	水	北部地区町村議会議長会 県政要望活動(久慈市)
8	15	水	軽米町成人式
8	21	火	県立軽米病院と町議会との懇談会〔町政調査会〕
8	22	水	総務教育民生常任委員会視察研修(福島県、宮城県、~24日)
8	24	金	岩手情報文化研究会(盛岡市) 総務大臣講演会・懇親会(盛岡市)

議長交際費

7月 1件	3,000円
8月 2件	6,000円
9月 1件	3,000円



▲軽米町議会のホームページ QRコード

議長交際費は議長等が町議会を代表して総会等の行事へ参加する際の経費です。詳しくは町ホームページをご覧ください。

月	日	曜	行 事 名
7	27	月	議会運営委員会
8	28	火	町政調査会全体会・斎場視察(久慈市、九戸村) 議員全員協議会
8	29	水	岩手県町村議会議長会中央重点要活動(東京都)
8	30	木	岩手・秋田・山形合同中央研修会(東京都、~31日)
9	3	月	第27回軽米町議会定例会本会議(会期;~14日)
9	5	水	定例会一般質問 議会運営委員会、総務教育民生常任委員会
9	7	金	定例会一般質問 産業建設常任委員会
9	10	月	平成29年度軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会(~12日)
9	12	水	議会運営委員会 議会報編集委員会
9	14	金	定例会最終本会議 議会報編集委員会
9	15	土	軽米町敬老会、軽米秋まつり(~17日)
9	16	日	軽米町消防演習、軽米音頭流し踊り〔町政調査会〕
9	19	水	特別養護老人ホームいちい荘敬老会
9	26	水	岩手県町村議会議長会 定例理事会、臨時総会、政務調査会(盛岡市)
9	27	木	議会報編集委員会
9	28	金	町村議会議員シンポジウム(盛岡市)

検証 追跡

あの「検討します」は…
どうなった? ⑧

議員の質問に対して「検討する」などと回答したものが、その後どのように対応し、どうなっているのかを追跡し、検証するコーナーです。

問 ミル・みるハウスの屋外トイレ 平成29年3月定例会 特別委員会での質問から Pick up!

答 24時間開放できないか
利用者のモラル等、施設管理態勢が課題
30年度に向け経費等積算し検討したい

その後は… 洗浄機能付き洋式便座で快適に

30年度からの指定管理契約の中に24時間開放した場合の費用を計上し、同年4月から実施している



設備更新や塗装などが施され利便性が向上したミル・みるハウスの屋外トイレ

利便性向上の観点から夜間、休館日も屋外トイレが使えるようにできないかと、これまで幾度も議論されてきた。施設の管理上、今まで以上の見回りや清掃などが必要になること、夜間使用時のモラルも危惧されることから実現を見合わせていた。試験的な開放も行いながら、30年度からの指定管理契約の更新に向け所要経費を予算化。ことし4月から24時間の利用ができるようになった。
また、29年度には屋根・外壁塗装と洋式便座への交換も行われ快適な利用に向け改善されている。

議会のはてな? しくみを教えて! No.16

議員報酬

報酬は月額制
議員報酬は月額制で、期末手当の支給が可能とされる。議会活動の実態から自治法上は他の委員会委員等の非常勤職員とは別に定められている。
議員は19万5千円
議員報酬の額と支給方法は町条例で制定。議員は月額19万5千円のほか議長は同26万2千円、副議長は21万9千円。6月と12月には期末手当が合計で3・25月分支給される。報酬額の決定には通常、特別職報酬等審議会などを経て議会に条例改正案が提出される。
過去には20万5千円も
現在の議員報酬月額額は平成19年10月から摘要されている。最高月額額は同年4月から15年11月までの20万5千円。県内町村議会の最高最低額は、紫波町の24万8千円と九戸町の16万5千円。

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. 13

二戸市出身 35歳 (向川原)

妻・長男・長女・次男・義父・義母の7人家族

はたけやま こうじ

畠山 公志 さん



るい
長男・琉羅 君

りょう
次男・稜央 君

れみか
長女・笑佳 さん

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に來られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。
議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

契機は里帰り出産

☞ 軽米町で暮らすきっかけは？
妻の実家が軽米で、出産のため里帰りしたのをきっかけにそのまま暮らし始めました。それまで、結婚してからしばらくは二戸市内で生活していました。

遠かったイメージ

☞ 町に住む前の印象はいかがでしたか？
子どもの頃、軽米の親戚やフォリストパークによく遊びに来ていましたが、遠いところだなあと感じていました。社会人になってからも仕事や友人のところに来る機会もあり、その頃はまさか自分が結婚してここに住むようになるとは想像もしていませんでした。

我が家はバスケット一家

☞ 現在の生活・暮らしについてお聞かせください？
バスケットボールを高校から始めて今でも続けています。長男と長女もミニバスをやっているのでバスケット一家ですね。自分も町協会に所属しています。興味ある方、ぜひいらして下さい。

子どもの遊び場を

☞ 町がもっと住み良くなるためには何が必要ですか？
町中にはスーパーやコンビニ、学校、銀行など近くに何でもあるので普段の生活に不便は感じてません。子どもたちの医療費助成は助かりますし、保育料がもっと安くなれば良いですね。欲しいのは子どもの遊び場。雨でも遊べる屋内施設やアスレチック、屋外バスケットゴールも！ 各施設の駐車場が広いともっと使いやすいと思います。

かるまい
議会だより

発行日 平成30年10月31日発行 (No. 215)

発行者 軽米町議会 議長 松浦 求

編集 議会報編集常任委員会

〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85

TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335

URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集常任委員会

委員長 茶屋 隆
副委員長 中村 正志

委員 松浦 満雄
委員 川原 芳蔵
委員 田村 せつ
委員 中里 宜博

軽米町議会だよりはこちらから

